

「これは官邸の最高レベルが言っていること」

加計学園問題

全文を読めば伝わってくる生々しい「官邸圧力」の実態!

必読!

藤原内閣府審議官との打合せ概要 (獣医学部新設)

※取扱注意

- 日時: 平成28年9月26日(月) 18:30~18:55
- 対応者: (内閣府) 藤原審議官、佐藤参事官、(文科省) 浅野専門教育課長、■■■■補佐
- 概要:
 - 平成30年4月開学を大前提に、逆算して最短のスケジュールを作成し、共有いただきたい。成田市ほど時間はかけられない。これは官邸の最高レベルが言っていること(むしろもっと厳しいことを言っている)。山本大臣も「きちんとやりたい」と言っている。
 - 成田市の医学部新設の際には3省方針を作成したが、これは東北新設時に復興庁と方針を作成していたため、同じ形でやることとなったもの。内閣府としては方針作成が必要だと考えていないが、文科省として審査する際の留意点を出す必要があることは理解。
 - クレジットは、内閣府と直接の規制省庁である文科省がマスト。関係省庁が入らないとできないわけでもなく、農水省・厚労省を入れないのなら、文科省が動く必要あり。ドライに、両省が協力しないなら「彼らがやらなかった」と責任を負う形に持って行けばよい。いずれにしても第2回分科会で方針原案を決めるスピードでやる必要。
 - (今治市構想について、獣医師会から文科省・農水省に再興戦略を満たしていない指摘する資料が届いており、簡単ではない旨の指摘に対し、)必要であれば分科会に獣医師会を呼ぶ。成田市分科会に医師会を呼んでいないが、文科省と厚労省で選んだ有識者の意見を聴取した。反対派は呼んでいないが。有識者を呼ぶ回を作った方がよければやる。
 - 「できない」という選択肢はなく、事務的にやることを早くやらないと責任を取ることになる。早く政治トップの判断に持って行く必要あり。文科省メインで動かないといけないシチュエーションにすでになっている。
 - (他の新設提案者はどうするのか、との間にに対し、)成田市の際には、3省方針に「1校」と記載。諮問会議としては3省が決めたことなど知ったことではないが、方針を出さないで省として持たないということで作った。裏では政治的なやりとりがあった。
 - 3省方針ではなく、「民泊」(9月9日諮問会議資料2-2)のように、留意点や手当てを記載した1枚程度の方針を諮問会議として出すことも可能。ただ、当該会議の場には厚労大臣も出席して決定している。この方法は総理や山本大臣の負担になるが、こちらの方が手続きは簡単。要素さえもらえれば、内閣府はすぐこの資料を作れる。今週末週でペーパーワークしないといけない。
 - 今週とかを、という世界で早めに上に相談してくれ。

連日報道されている前文科省事務次官の前川喜平氏が公表した「藤原内閣府審議官との打ち合わせ概要(獣医学部新設)」という「※取扱注意」と明示された資料を精読すると、いかに官邸の圧力が各省庁にかかっているかが手によるようにわかる。表現や語尾から強引さが伝わってくる。

官邸からの強力な圧力

官邸の最高レベルの言っていることについて、かっこ付で「むしろもっと厳しいことを言っている」とさらに圧力を強化。

他省へ押し付けも指示

農水・厚労両省が協力しなければ、彼らがやらなかったと、ドライに「責任を負う形にもって行けばよい」と指示。

反対派の排除も明言

獣医師会から「再興戦略は満たしていない旨の指摘資料」が届いているが、文科省・厚労省が選んだ有識者意見聴取には「反対派は呼んでいない」と明言。

責任論を持出した脅し

「できない」という選択肢はなく、早くやらないと「責任を取ることになる」と最後通牒を突き付ける。

前文科事務次官の証人喚問を!

「責任論」までちらつかせながら政治的圧力をかけられたら、官僚組織は反対することができない。安倍総理の友人を優先して許認可の圧力がかけられてきたのであれば、「政府の私物化」以外何物でもない。

結局、日本政府は旧態依然とした「利権政府」に逆戻りしてしまったのか。

さらに真実を明らかにするため、前川喜平・前文科省事務次官の証人喚問を要求します。

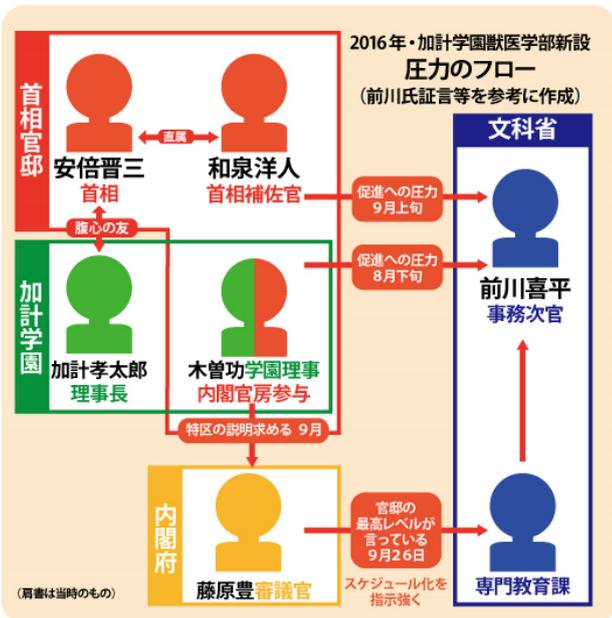
加計学園問題を 検証!

行政の公平性・公正性が ゆがめられたおそれ

安倍内閣は閣議決定でルールを決めていたがそれを破って加計学園だけを認可!

■安倍内閣が2015年に閣議決定で決めた獣医学部新設ルール(4条件)

- ① 現在の提案主体による**既存獣医師養成でない構想**が具体化し、
- ② ライフサイエンスなどの**獣医師が新たに対応すべき具体的需要**が明らかになり、かつ、
- ③ **既存の大学・学部では対応困難**な場合には、
- ④ **近年の獣医師需要動向も考慮**しつつ、**全国的見地から本年度内(2015年度内)**に検討を行う。



安倍首相周辺からの度重なる圧力は 行政機関の現場レベルまで動かした!

左図でも明確なように、安倍首相周辺からの圧力は様々なチャンネルを通じて何度も行われ、内閣府審議官、文科省専門教育課等の「行政機関の現場レベル」にまで到達し、さらに文科省の事務方責任者である「前川事務次官(当時)」に集約していった。

個人的な人脈を首相が、執拗かつ巧妙な手段で圧力をかけることは、「権力の私物化だ!」との指摘もある。

【加計学園問題のポイント】

なぜ閣議決定したルール(4条件)を破って、**加計学園だけに獣医学部新設を認めたのか!?**

京都大学との連携やIPS細胞の研究をはじめ、ライフサイエンス分野にわたる**優れた提案をした京都産業大学がなぜ選ばれなかったのか!?**与党内部からも疑問の声が出ている。

FACT Watch!

度重なる情報隠し

いくら隠しても真実は必ず明らかになる!

都合の悪い事実は隠蔽する
旧態依然とした体質は改善する!



■南スーダンPKO日報

保存期間1年未満なので報告したら捨てました。

■森友学園と国の接触記録

保存期間1年未満なので契約したら捨てました。

■加計学園「総理のご意向」文書

探しましたが、見つかりませんでした。

あったことを
なかったことには
できない



文科省・前川前次官

国連の特別報告者が警告

「日本の報道の独立性に脅威」

国連の「意見及び表現の自由」の調査を担当する特別報告者、デービッド・ケイ氏(米カリフォルニア大教授)が6月2日、記者会見した。「メディアの独立性が大きな脅威にさらされている」と懸念を示したほか、政府が放送免許を取り消せる点などを問題視した。



記者会見する国連特別報告者デービッド・ケイ氏(FCCJのYoutube動画より)

民進党〇〇県第〇区総支部長



〒000-0000

〇〇県〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

TEL:000-000-0000 FAX:000-000-0000